

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院におけるジノプロストン腔内留置用製剤(PROPESS)使用症例の検討

[研究責任者]

江南厚生病院 産婦人科 永井彩華

[研究の概要]

子宮頸管熟化剤としてジノプロストン腔内留置用製剤(PROPESS)の投与が開始され 3年以上が経過し、我が国でも使用頻度が増加しつつある。しかし、従来使用されてきた器械的頸管拡張との比較検討はまだ数少ない。

今回我々は、ジノプロストン腔内留置用製剤の有用性について器械的頸管拡張を施行した症例と比較して後方視的に検討した。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2022年4月から2023年3月までの期間にジノプロストン腔内留置用製剤を使用した方、2018年4月から2023年3月までの期間に器械的頸管拡張を施行した方で、評価項目を確認できる方。

●利用するカルテ情報

年齢、妊娠週数、ジノプロストン腔内留置用製剤挿入から児娩出に至るまでの時間、挿入時間、それぞれの挿入前後でのBishop scoreの変化、経膈分娩率 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 産婦人科 永井彩華

電話 0587-51-3333